

資料提供について

事務局

島根県では平成 24 年 10 月 28 日に第 3 期竹島問題研究会第 1 回の研究会を開催後、11 月 22 日に、資料提供を呼びかける報道発表を行った。全国に向けた島根県のホームページ上の Web 竹島問題研究所や竹島資料室における呼びかけは次の通りである。

～島根県から全国へ、

「竹島」に関する古文書や絵図などの史料や資料の提供をお願いします～

島根県では、竹島問題に関する客観的な研究を引き続き行うため、「第 3 期竹島問題研究会」を 10 月に設置しました。この研究会において、史実や資料に基づく研究をさらに深めるため、全国に「竹島」に関する古文書や絵図などの史料の提供を下記により呼びかけます。

記（略）

史料等の例示として「古文書・地図・絵図、竹島に関するもの（たとえば、記録や写真など）、日本の各地域で語り継がれている言い伝えなど」を示したところ、報道発表の直後から、様々な情報が寄せられた。その状況は以下の一覧表に示すとおりである。

月別受付件数

	H24 年度	H25 年度	H26 年度
4 月	—	2	3
5 月	—	1	1
6 月	—	2	0
7 月	—	5	0
8 月	—	6	1
9 月	—	1	0
10 月	—	1	2
11 月	6	0	0
12 月	5	0	0
1 月	3	4	1
2 月	2	6	5
3 月	6	3	0
計	22	31	13

都府県別情報提供件数（H24～26 年度）

宮城県	2
千葉県	3
東京都	7
新潟県	1
富山県	1
石川県	1
静岡県	2
三重県	1
京都府	1
大阪府	3
鳥取県	3
島根県	27
広島県	5
香川県	2
熊本県	1
宮崎県	1
海外	1
匿名	4

内容別情報提供資料点数

	H24年度	H25年度	H26年度
地図・絵図	23	16	10
古文書	1	2	—
書籍	6	7	5
絵はがき	1	1	1
絵皿	3	1	—
写真（アルバム）	—	—	2
映像	—	2	—
証言	—	1	1
その他	—	3	4
件数合計	34	33	23

以上をまとめると、平成 24 年 11 月から平成 26 年 3 月までの情報提供は 66 件あり、資料の点数は 90 点になる。一件につき複数の情報提供をいただいた場合があり、件数と資料点数は一致していない。聞き取りをした証言も一人につき 1 点としている。

直接資料室にお越しいただいた場合や、連絡を頂き、資料のコピーや画像の提供、現物を送付していただくこともあった。また貸与いただき、データ化をしたり展示をさせていただいたりした場合もあった。これら

貴重な資料や体験談は、調査研究の新たな展開に波及していった。

情報提供のうち、資料の寄贈を受けたものが 20 件（20 名の方から）あり、資料点数にすると 29 点あった。いずれも、これまで竹島資料室に所蔵していない貴重なもので、今後の調査研究、展示等に活用させていただく所存である。

提供資料の中で、重要と判断した地図について、平成 25 年 3 月 6 日に、総務部総務課より報道発表を行い、数社の新聞に取り上げられた。

参考 【読売新聞 平成 25 年 3 月 7 日（木）35 面 島根版】

竹島記載の旧陸軍地図

1942、43年に旧日本陸軍の陸軍調査部が発行し、日本海に竹島が記載された2種類の地図が見つかった。厚さが6頁、発表した。所有して2種類、近くに航路も

「太平洋真実図」に記載された竹島は中央に、そばに小松と大津を結ぶ航路が点線で描かれている

島によくと、地図は、アジア・太平洋地域などを収めた太平洋真実図（42年、幅尺20000分の1）と太平洋真実図（43年、幅尺15000分の1）。

両方とも日本海に竹島が描かれ「竹島」と島名を明記。そばには北海道・小樽と中印・大津を結ぶ航路を点線が描かれていた。当時の竹島が、日本海を行き来する船の目印になっていた様子が見えるという。島根県の島名は、島根県が昨年11月に竹島に関する資料の提供を呼びかけた直後、男性から情報が高じられた。厚が薄べた結果、同じ地図は国立国会図書館や東北大学などに残っていないという。県の呼びかけに対し、6日までに地図や古文書など今回の地図を含む15件の情報提供が寄せられており、「竹島が日本領である」とする資料があれば連絡を、としている。問い合わせは、島根県資料室（0852・22・5669）へ。（矢吹慎一）